

第2次環境基本計画 進捗状況（H31年3月末）

環境指標	担当課	指標の内容	(2022)	(2016)	(2017)	(2018)	担当課意見記入欄
			H34 目標値	H28 現状	H29 達成状況	H30 達成状況	
基本方針1 暮らしやすさが実感できる環境をつくります							
水質に係る環境基準達成率	環境課	河川（環境基準の類型指定がある地点）におけるBODに関する環境基準を達成した測定地点の割合※BOD（生物化学的酸素要求量）	100%	100%	100%	100%	【H30速報値】全ての地点において環境基準に適合していた。（静岡県調査）
大気に係る環境基準達成率	環境課	二酸化硫黄（SO2）、二酸化窒素（NO2）、浮遊粒子状物質（SPM）、微小粒子状物質（PM2.5）に関する環境基準を達成した測定地点の割合	100%	100%	100%	100%	【H30速報値】全ての地点において環境基準に適合していた。（静岡県調査）
汚水処理人口普及率	上下水道総務課	し尿・生活雑排水の処理人口（公共下水道＋農業集落排水＋合併処理浄化槽）／住民基本台帳登録人口	93.48% (H33)	88.80%	89.40%	89.88%	引き続き下水道への接続、合併処理浄化槽の設置などの普及啓発を進め、汚水処理の普及に努める。
基本方針2 豊かな自然環境を守ります							
市民一人当たりの都市公園等面積	都市整備課	都市公園等の市民一人当たりの確保量※都市公園等：都市公園、民間開発等により開設された公園、交流センター、学校等のグラウンド、市民農園等※目標値は「磐田市緑の基本計画」に準ずる	※21.27㎡ (H38)	15.52㎡	15.58㎡	15.59㎡	人口の増減により一人当たりの面積が変動しているが、実質総面積の変動はない。
市内の耕作放棄地面積	農林水産課	市内における耕作放棄地の面積※耕作放棄地：農作物が1年以上作付けされず、農家が今後数年の間に再び耕作する意志のない農地（田畑、果樹園）	93.0ha	98.33ha	84.8ha	99.0ha	農業者の高齢化や担い手不足などの理由により、今後、耕作されない農地の増加が見込まれるため、耕作放棄地になる前に担い手へ繋ぐように努める。
ヘッコウトンボ個体数調査発生数	環境課	ヘッコウトンボ個体数調査で確認された頭数※ヘッコウトンボ：環境省第4次レッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類に指定されており、自然環境保護のシンボルとして磐田市の昆虫として選定されている	200頭以上	253頭	171頭	91頭	1～3月の天候不順の影響が例年より大幅に減少した。引き続き環境保全団体や地域と協働で保護を行い200頭以上を達成することを目標とする。
基本方針3 自然・歴史文化とふれあう機会をつくります							
自然観察会等への参加人数	環境課	自然観察会や体験教室、環境保全啓発行事等への参加人数	700人	586人	778人	1,184人	桶ヶ谷沼での自然観察会への参加増や、大池での野鳥観察会開催により昨年度と比較し参加者は増えている。
歴史文化とふれあう市の施策に「満足」している市民の割合	文化財課	普及啓発のための企画展等で実施するアンケート調査において、「満足」「良かった」等肯定的な回答の割合	90%以上	83.80%	92.40%	91.20%	興味あるテーマの設定、わかりやすい展示内容に務める。
文化財関係施設への入館者数	文化財課	旧見付学校・旧赤松家記念館・埋蔵文化財センター・竜洋郷土資料館・豊岡農村民俗資料館の入場者数の合計／年	48,500人 (H33)	41,010人	41,912人	37,601人	周知・広報により入館者数の増加に努める。
基本方針4 3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進します							
1人1日当たりごみ排出量	ごみ対策課	一般廃棄物総排出量／365日／人口（※資源集団回収量を含まない）※一般廃棄物：家庭から排出されるごみと、事業活動に伴って発生するごみのうち産業廃棄物以外のごみ	685g／人・日 (H33)	697g／人・日	703g／人・日	731g／人・日	10月の台風被害による影響もあり、前年に比べ28gの増加となった。ごみ排出量の削減に向け、引き続き啓発活動を実施することで、市民の減量意識の向上を図っていく。（H28年度 静岡県 886g／人・日）
地場産物を使用する割合	学校給食課	学校給食における地場産物を使用する割合（使用している品目数／全体品目数）	20% (H35)	16.3% (H29)	16.30%	19.10%	栄養士及び調理員に地場産物を使用するよう啓発していくことで、学校給食における地産地消を推進していく。
上水道有効率	上下水道総務課	有効水量（有収水量＋無収水量）／総給水量※有収水量：料金の対象となった水量※無収水量：料金徴収の対象とならないが、有効に利用された水量（消火栓等）	88.10%	86.90%	86.40%	86.50%	無効水量（漏水量）の減少と老朽管更新を一層推進していくため、平成30年度から使用料の値上げをした。今年度から徐々に成果がでるものと期待している。
基本方針5 地球温暖化対策に取り組みます							
公共施設からの温室効果ガス削減率	環境課	市の事務及び事業に伴って排出される温室効果ガス排出量の削減率（対平成24年度比）※目標値は「磐田市地球温暖化実行計画（事務事業編）」に準ずる	※4.7% (H30)	8.10%	2.40%		環境マネジメントシステムのエコアクション21を取り入れ、市の事務事業に伴い排出されるCO2の削減を図っている。磐田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）は平成30年度で計画期間が終了し新計画を策定した。平成30年度は集計中。
エコアクション21認証登録の継続	環境課	市における環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証登録の継続※エコアクション21：環境省が策定したあらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組むための仕組み	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	平成30年度は中間審査を受審し、「地方公共団体向けガイドラインに適合」と判定をいただいた。
住宅用太陽光普及率	環境課	太陽光発電設備（10kw未満）導入件数／世帯数※静岡県は、「ふじのくに新エネルギー等導入倍増プラン」で住宅用太陽光普及率10%（2020）を目標値として掲げている	12.00%	8.30%	8.75%	8.98%	住宅用太陽光発電設備を導入する市民に対し、20,000円（1世帯当たり1基）の奨励金を支給している。
基本方針6 環境教育を推進します							
環境教育に取り組む学校の割合	小学校	地球温暖化防止に関することなど環境教育に取り組んでいる小学校の割合※対象：公立小学校	100%	100%	95.45%	100%	多くの小学校で環境教育に取り組んでいる。取組みの内容を共有できるような仕組みを検討したい。（環境課）
学校給食における残菜量	学校給食課	小学校及び中学校における学校給食1回当たりの残菜量の合計※対象：公立小学校及び中学校	6kg／回	6.6kg／回	6.8kg／回	6.2kg／回	給食を全部食べることで成長に必要な栄養が取れ、残菜もなくなり環境にやさしいことを児童生徒へ引き続き啓発する。
協働による環境教育に取り組む園の割合	幼稚園・保育園・こども園	環境保全団体や地域と協働で環境教育に取り組んでいる保育園、幼稚園、こども園の割合※対象：公立保育園、幼稚園、こども園	100%	92.90%	92.85%	100%	多くの園で協働による環境教育に取り組んでいる。自然に触れる体験や、農業に関連する活動が活発に行われている。（環境課）

2019年7月22日

議事（2）第2次磐田市環境基本計画の基本方針に係る施策について
①基本方針4 3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進します

目標4-1 3Rの推進・廃棄物の適正処理

- ① 総合的な廃棄物対策や啓発の推進
- ・一般廃棄物処理基本計画（平成24年度から平成33年度まで）
ごみ・生活排水の処理に関する方針を長期的・総合的に明確にする計画
 - ・一般廃棄物処理実施計画（毎年策定）
排出見込みや削減に向けた取組み、排出方法、搬入施設などの計画
- ② 3Rの推進と啓発
- ・循環型社会の実現に向けた3Rへの取組みを推進しています。
エコ教室の開催、各種イベントへの出展や市内の小学生のクリーンセンター見学会などで啓発

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・リデュース（Reduce：発生抑制）・リユース（Reuse：再使用）・リサイクル（Recycle：再生使用） |
|---|

- ③ ごみの適正処理
- ・廃棄物処理施設の整備、維持・管理の実施
 - ・分別方法や排出方法の周知を図る
ごみ収集カレンダー、分別ガイドブックの配布
市ホームページやごみ分別アプリの作成、DVDによる紹介
- ④ 不法投棄の防止
- ・不法投棄防止看板の貸出、監視カメラの設置
不法投棄防止看板の貸出 157枚
常習箇所へ監視カメラを設置 4箇所
 - ・監視パトロールと回収を実施
監視パトロールによる回収件数 453件
警察による検挙件数 6件

2019年7月22日

目標4-2 グリーン購入・地産地消等の推進

①グリーン購入の推進

- ・市役所ではグリーン購入法適合品の購入額の割合を達成率とし、取り組んでいます。
- ・市内での物品購入額に占めるグリーン用品購入額の割合
平成30年度は94.8%。



グリーン購入：購入の必要性を検討し、環境にやさしい製品を選択し、使用後の廃棄についても環境に配慮しながら購入する事

グリーンマーク：公益財団法人古紙再生促進センターが制定した古紙配合率の基準を満たす紙製品に対し表示が許可されるマーク。



エコマーク：「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベル。日本環境協会内のエコマーク事務局にて認定されている。

②地産地消の推進

- ・小中学校で使用する給食材料を対象に地産地消の推進を実施
「ふるさと給食週間」と指定した10日間で使用した食材に占める市内産の食材の割合を算出。平成30年度は19.1%。

③環境にやさしい消費行動の推進

- ・3R推進月間に消費者団体と啓発活動を実施
いわた消費者協会とマイバッグ持参キャンペーンを実施

目標4-3 水循環の確保

①水資源の計画的利用

- ・磐田市水道事業ビジョンの策定（平成29年3月）
漏水防止対策の取組みとして、管路の更新（老朽管の更新工事）に加えて漏水調査を実施していきます。

②総合的な地下水の保全

- ・地下水利用者に対する啓発と地下水の調査を実施
「静岡県地下水の採取に関する条例」に基づく取水基準の範囲での適正な採取を促し、定期的に地下水の採取量や地下水位の調査を実施しています

2019年7月22日

議事（3）その他 環境施策の実施状況

1. 野生鳥獣による苦情や被害について
 - ・ムクドリ集団化に対する施策
豊田町駅前にて、追い払いを実施予定

2. 松くい虫対策について
 - ・被害木の発見から伐採までは1か月以上かかります。
 - ・松くい虫の被害木の伐採は、例年10月から5月に行っています。
 - ・松くい虫被害の防止のために農薬の空中散布を例年5月頃実施しています。

3. その他
 - 【報告】磐田市環境保全推進協議会総会
令和元年6月11日（火）
講習会：「SDGsとは？・企業が取組むSDGsについて」

 - 【開催】打ち水大作戦
令和元年7月27日（土）16：15～
いわた夏祭inジュビロードにて打ち水大作戦を実施